

Dosukebe mode!!

学マスイチャラブエロ合同

R18

まめおじたん
まめでんきゅう
流。

くれりて
源

みどり葵
ギリギリ舞
ピリオド
やもげ

GAKUEN
IDOLMASTER
UNOFFICIAL
FANBOOK

Dosukebe mode!!

Setlist





少しくらいなら
ねっ?♡

せっかくだから
Pくんも温泉
楽しまない?



そうですね...
では失礼して

ちゃぷ...

ようこそ
初星温泉へ

Presented by 流。



Pくん!?
なんでそっち向いちやうの!?

かなりまずいのでは.....

ん...



お疲れ様でした

ん♡
ようやく終わったね♡



そういえば
この前麻央がね.....

とはいえこの状況

ほんとあかしって

みる♡



そうだよね
Pくんも男の子
だもんねっ



ねえPく……



お姉ちゃん力
強化特訓……

つきあってくれる？



でも……



チャンスかも……？

Pくん！
あのねっ！



びゅるっ

イッ!!

お姉ちゃんの
お手々気持ちいいね

たくさん射精せて
かっこいいよ

げんぶ
射精してね

びゅるっ

びゅるっ

Pくん……

ズ……

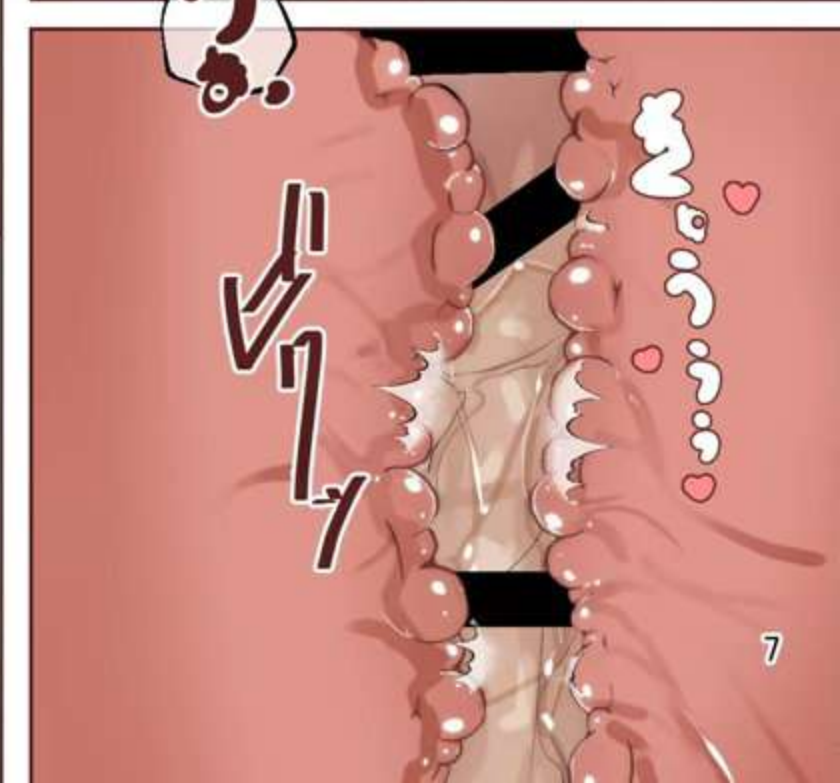
最後まで
ちゃんとして

お姉ちゃんが
みてあげるからね

まだ……
射精せるよね?

……っ!



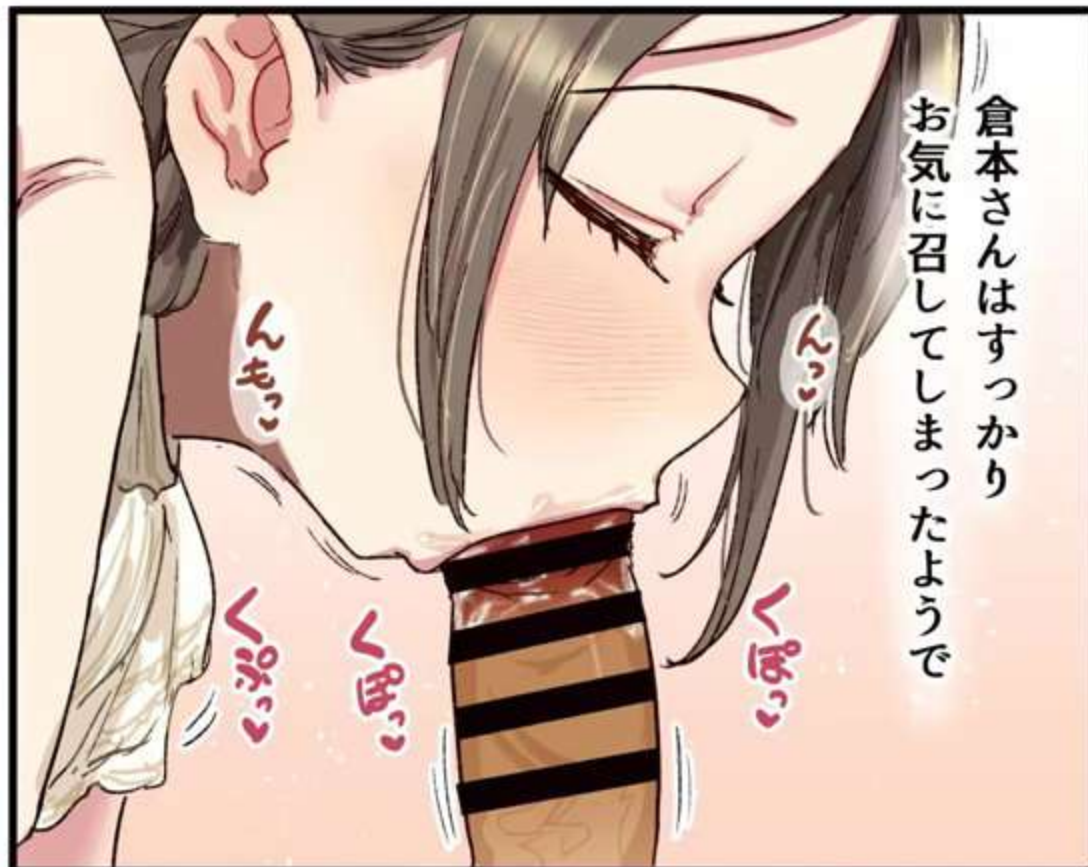








モチベーションアップに繋げるべく
定期的に“ご褒美”を与えている



倉本さんはすっかり
お気に召してしまったようで



倉本さんのストレス解消と
体力作りにもなっているようで
一石二鳥の効果だ

…これは必要な事だから…
余計な事を考えてはいけない…



万が一があつては
支障が出ますので

むう…本日もゴムを
おつけになりますのね…?

そ、それは…
そうですけれど…



もういいですよ

ふあ…
夢中になってしまいましたわ…♡





Presented by
ピリオドo

サプ
ロデュ
ー
!!







どさくさに
紛れてっ…

なにっ…



あっ…!!
ちよっ…!!

ぐい



えっ服
脱ぎっ…

………
勝手にして
ください

いけません
でしたか？

ダメとは
言わないん
ですね

っ………!!

ググッ



そんな
大声出すと
丸聞こえですよ

いつもより
すごい
締め付け...

興奮
しました?

そっ...
そんなわけっ...!!



IPチュ

IPチュ

はっ

ま...麻央さん...っ
もう...っ

ドチュ

ドチュ

あっ
あっ

あっ
あっ

かっ
かっ



麻央
どうしたの?

なんでも
ないよ

保健室

何も無い所で
転びますか
普通

受け身の取り方
は熟知してる

気絶
しちゃった

幸い：
大事なくて
良かった

相変わらず
ですね

Presented by
まめおじたん

その自覚が
あったとは…
驚きです

心配かけて
ごめんね

アイドルとして
躍進中の広さんに
これは足枷になる

しかし













裸のままで気を
失わないで
くださいね





ふふ…

お互いに枷をはめて
ままならない道を
歩んでいく



それって凄く、
楽しいね



あんなに堂々と
自信に満ちた笑顔で…

葛城さん…!!

リーリヤー
めっちゃずー

初めは自信が無いと
縮こまっていたのに
ばかりだったのに

やはりあの時の
秘密の特訓の成果が…

自信のヒケツ

源



んっん

あゝあゝ

ちゃ
ちゃ

ちゃ
ちゃ

あゝあゝ

んっん

ぬち

ぬ

め

くちゅ
くちゅ

んまっ
いい声
出てきましたよ

やな

は、
ほら
口塞ぐのは禁止。
言いましたよね

せ...
センパイの
鬼い...

はい
ビシバシ鍛えると
言いましたからね

はっ

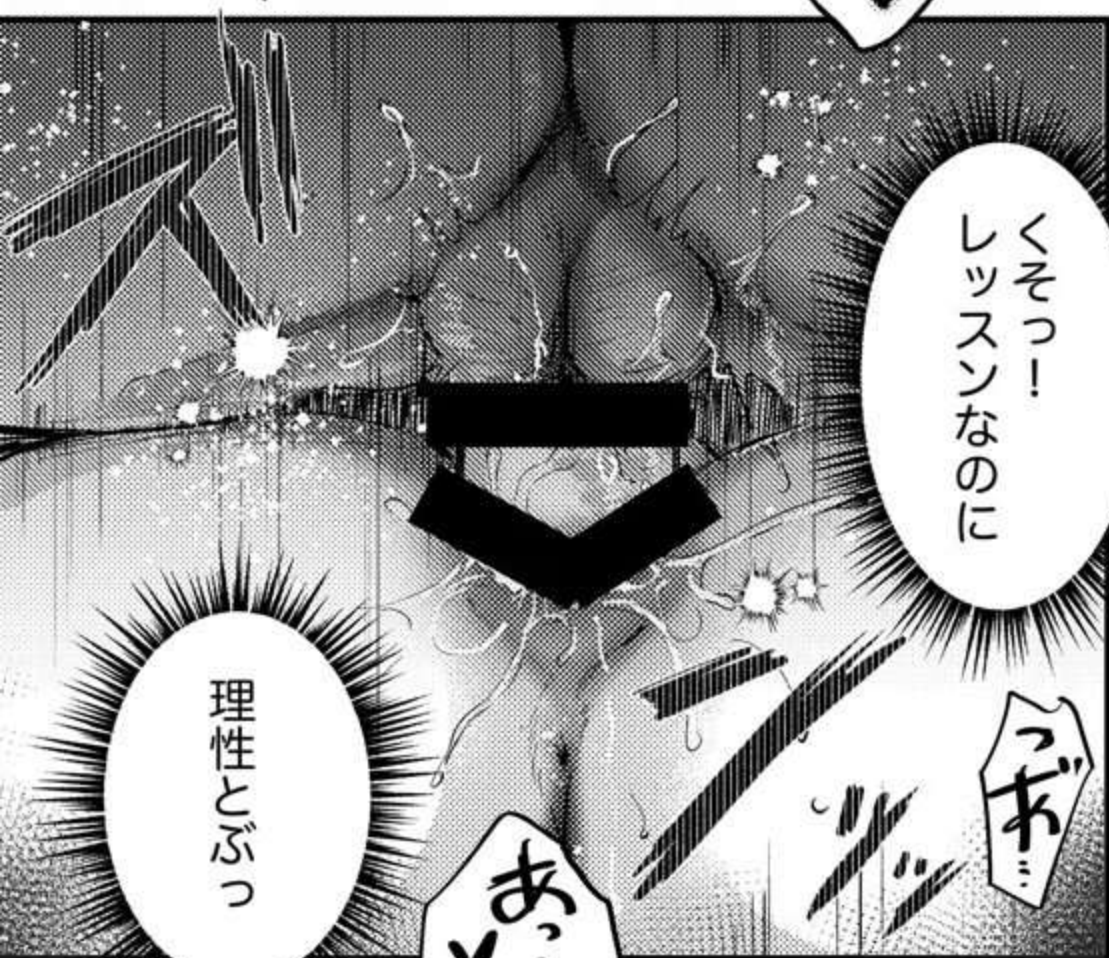
めちゅ

だから
葛城さんも
いい加減観念して

応えて
くださいよっ

あ

ッ
ッ
ッ





すみません

優しく手解き
するつもりが
激しく...

へと...

本当ですよ...

ちゃんとステージに
活かしますから

わたしをこんなにした
責任！取ってくださいね

センパイ♡

くす♡

Presented by
みどり葵

えー：お名前を
お願いします

十王星南よ！

学年などは？

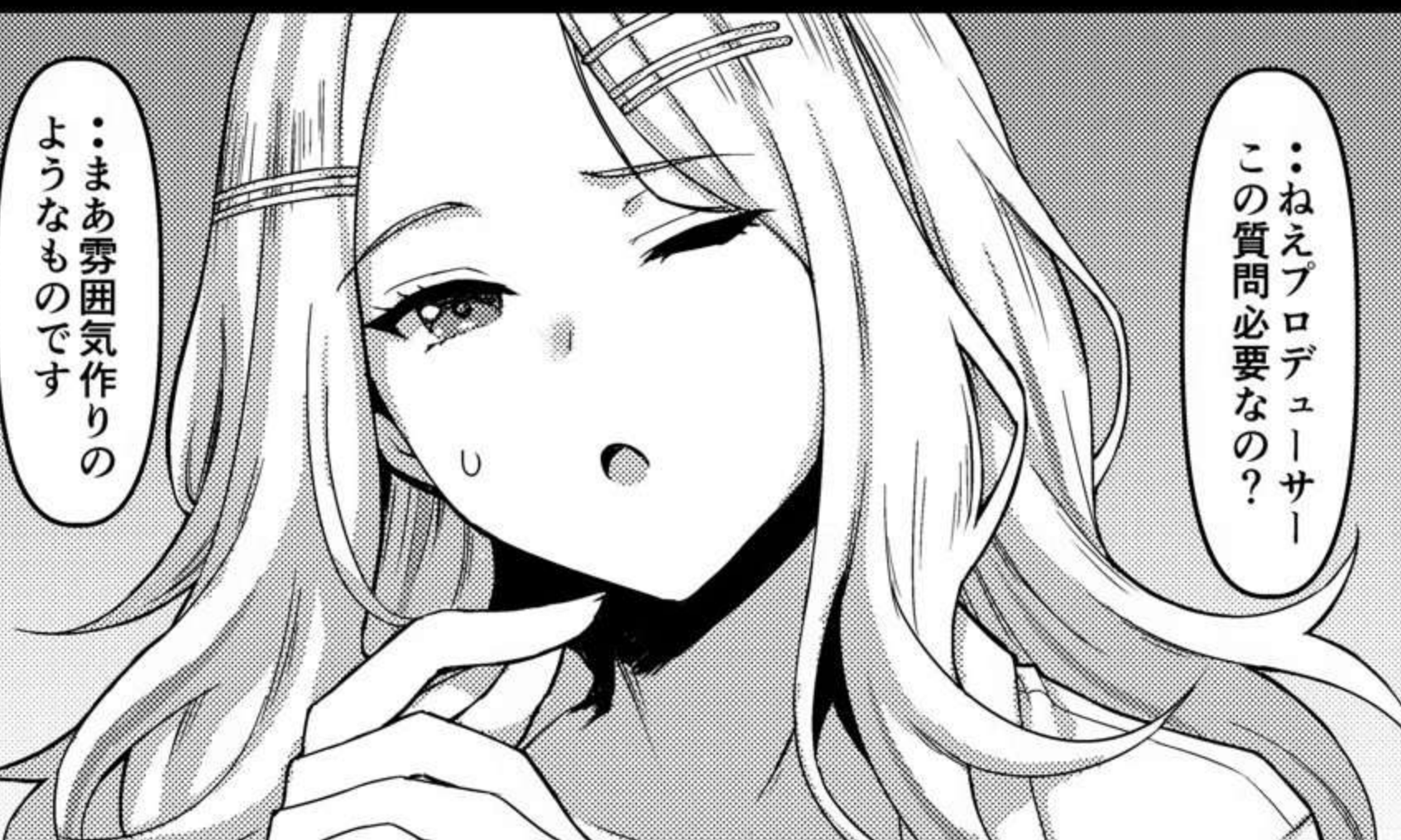
初星学園高○部
アイドル科三年生
生徒会長をしているわ



：ねえプロデューサー
この質問必要なの？

：まあ雰囲気作りの
ようなものです

よくわからないわね：



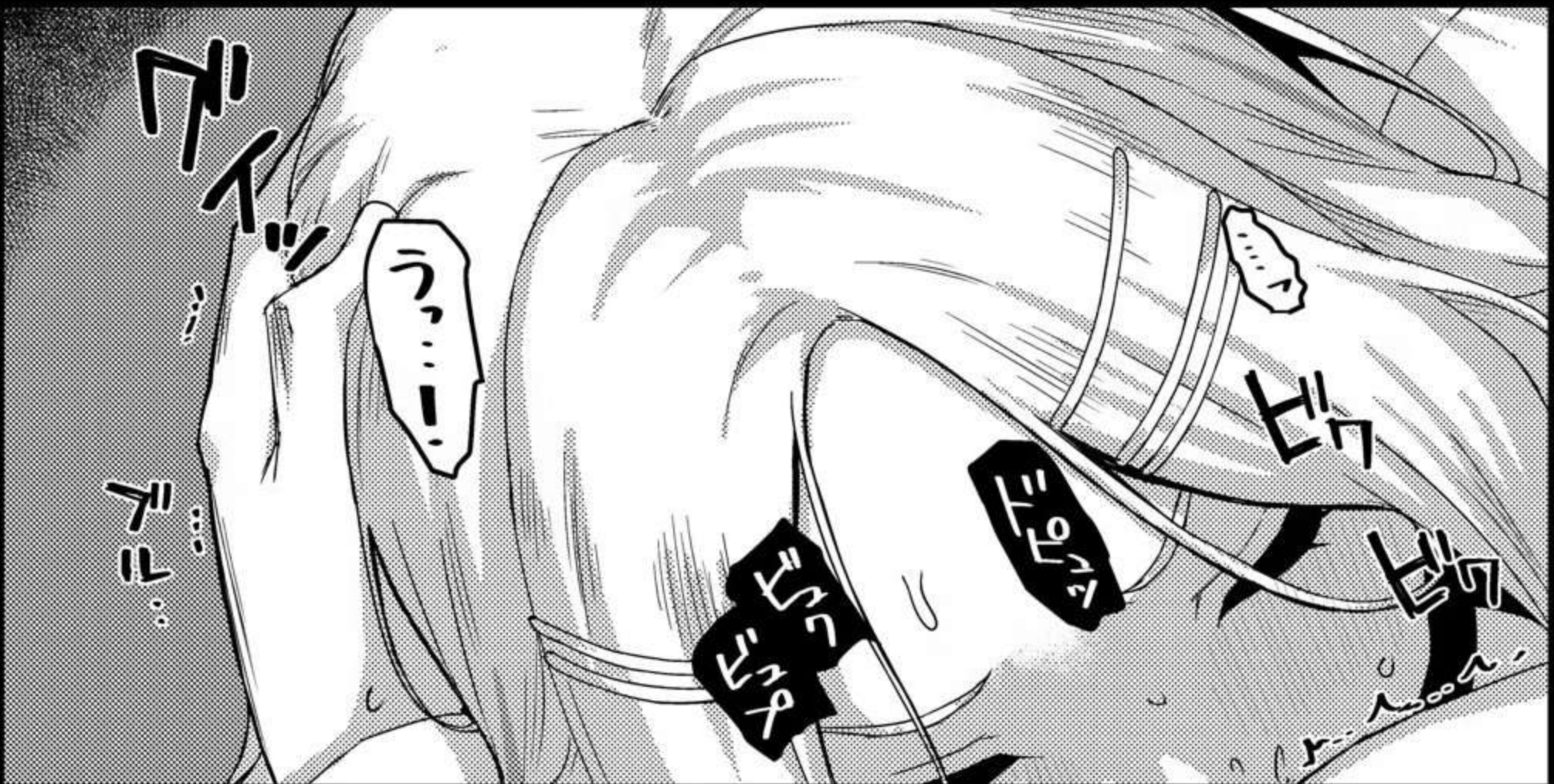
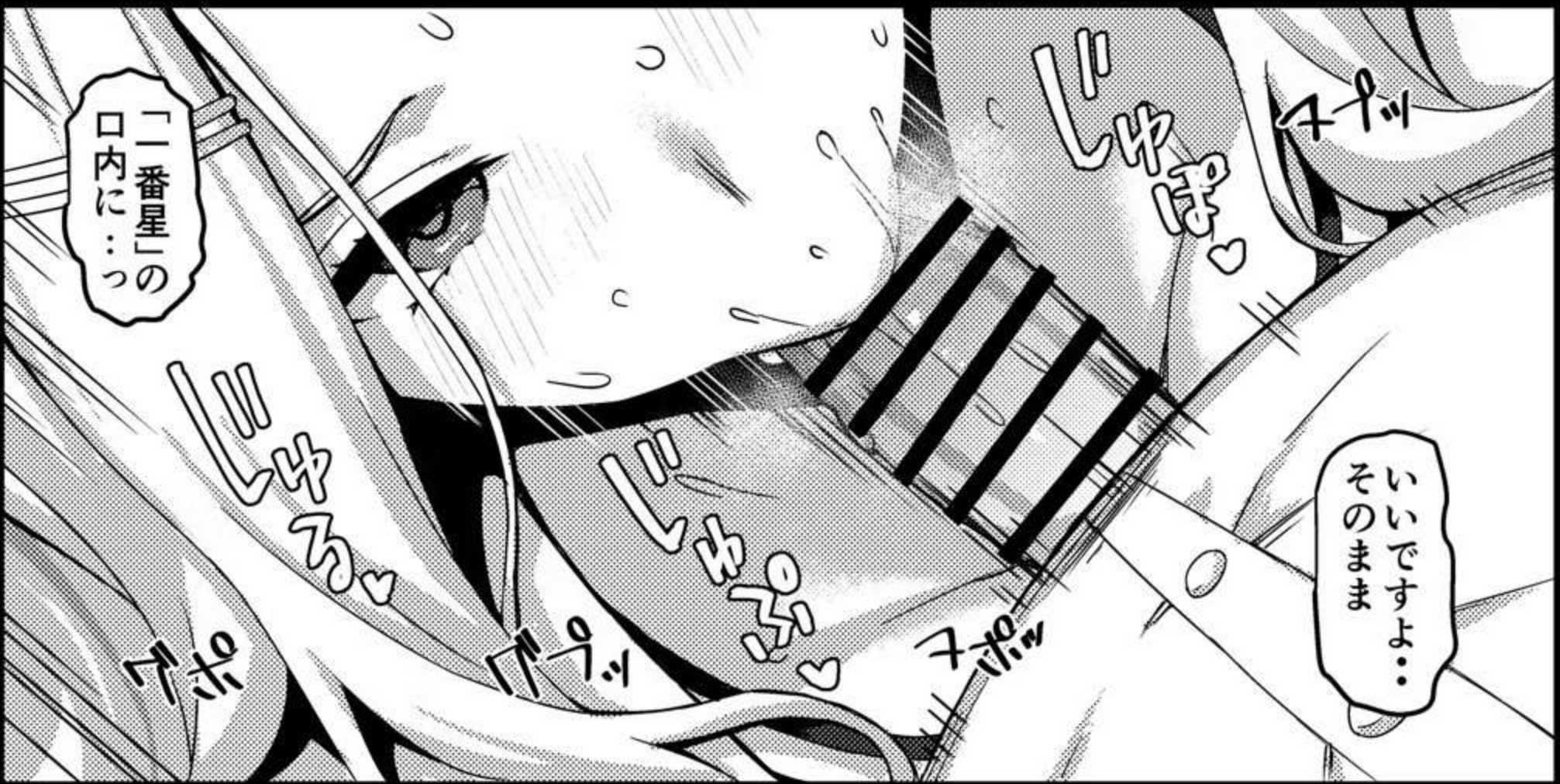
では初体験は
いつですか？

はあ？
ああなた
知ってるでしょっ

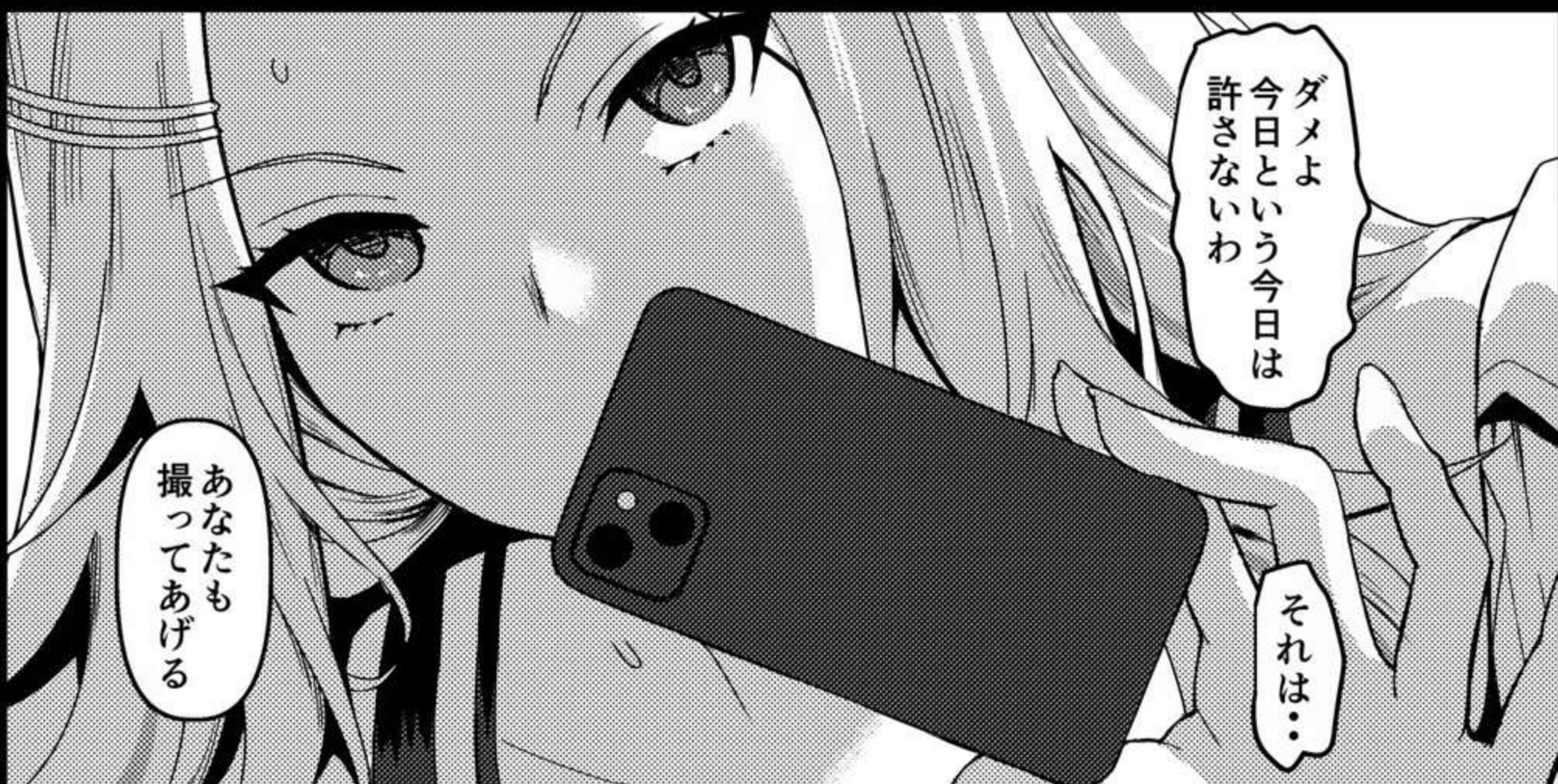
：じゃなくて
さっきから
一体何なのよっ





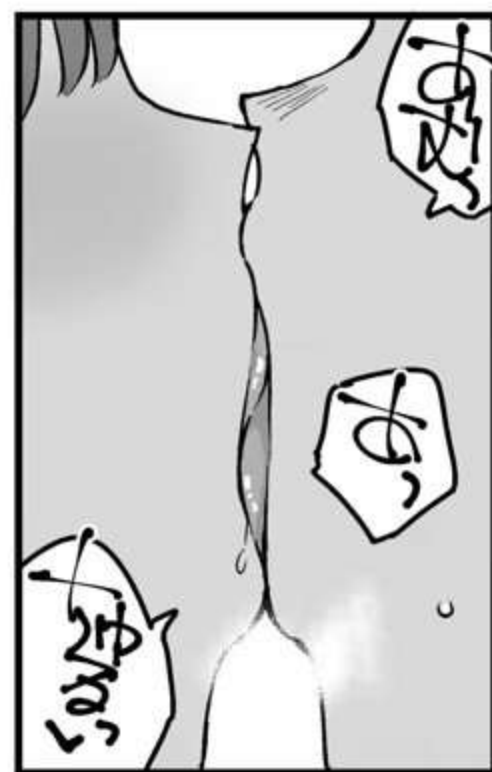








Presented by
まめでんきゅう



秦谷さんとは
月村さん関連の話から
つながりを持ち

世間話をする仲に
なっていた

そんなある日
激務に追われていた
俺は…

あそこがギンギンに
なっていた

疲れてるぞ
やっかん

まあ

大変

秦谷さん!?
何をして
いるんですか!?

まりちゃんに
こんな姿
晒したくは
ないでしょう

あなたにも
晒したくは
なかったのですが

ですから…



一度身を委ねて
しまってから

あうっ

彼女とサボることが
日常となった

くあ

全身で快感を
覚えて
いるんですね

元気で可愛い

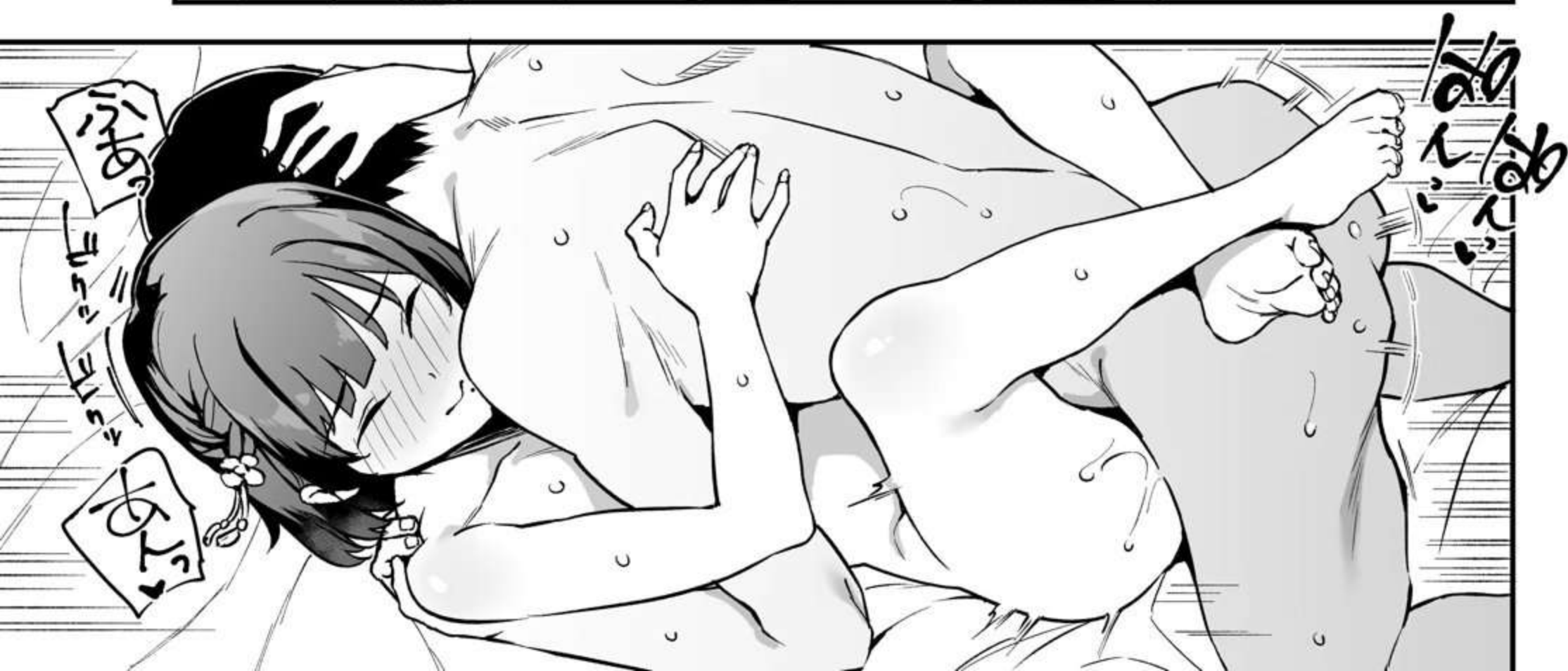
ふふっ

もう出ちゃうん
ですね？

いいですよ
出して

くあっ!!







このサボリ癖は...
治せそうもない

ふっ...
スッキリ
しましたか?

Presented by
ギリギリ舞

保健

佑芽さん
待って…

わぐ？

もど

んっ…

もど

んっ…

ちゅっ

ちゅっ
31

は

は

は

ちゅっ
74

は

は

は

は

はあ

はあ

いったい
どうして
こんなことに…

燐羽ちゃんに
言われたんです

賀陽さんに？

お姉ちゃんに勝つ
にはあたしには
オトナっぽさが
足りないって！

だからもっと
オトナっぽく
なりたいので

あたしとセックス
してください！

論理が飛躍
し過ぎでは!?

さっそく
始めちゃい
ますね！

あっ！
こらっ…

カチャ
カチャ







あつっいゝ

うわ

おっぱいの下
蒸れるん
ですよ〜

フッ...



「ふうっ」

「よし！ お掃除完了！ プロデューサーくんもお疲れ様！」

「ごめんね、休日に押し掛けちゃって。」

ライブがひと段落したから、お掃除タイミングかと思って」

「全然迷惑じゃないよ！ いつもお世話になってるプロデューサーくんへのお礼だから！」

「むしろオフなのに働かせちゃってごめんね。休んでくれててもよかったのに」

「『アイドルだけを働かせるわけにはいかない』？ ふふっ、真面目だね」

「んー……あ、そうだ！ 少しでも疲れを癒すために、膝枕してあげようか！」

「ほら、こっちのベッドで！ 隣座って？ お姉ちゃん力アップのためにも、ね？」

「はい、ごろん♪」

「よしよし。いつも頑張ってるえらいえらい♪」

「ふふっ、こうしてるとなんだか私まで癒されちゃうなあ」

「ところで……プロデューサーくん。ちよっとだけ聞きたい事があるんだけど、いいかな？」

「その……この本、なんだけど」

「ご、ごめんね！ お掃除してたら偶然見つけちゃって……うん！ 全然見苦しくなんてないよ！ プロデューサーくんも男の子なんだなあ、とは思ったけど！ い、言いたいのはそういう事じゃなくて！」

「えっと……プロデューサーくんって、こういう事されたかったり、する？」

「この、おっぱいで挟むやつ、とか……」

「パイズリ、って言うんだよね？ その……私なら、してあげられるよ？」

「ほ、ほら！ お、おっぱいだってこの本の子より大きいし！ お姉ちゃんキャラには色気も大事だと思うから！」

「どう、かな……」

「……あ……」

「膨らんでるよね、ズボン。チャック、開けるね」

「わっ……」

「プロデューサーくんの、おっきい……」

「ドクドク脈打ってて、すっごく硬い……」

「もしかして……お姉ちゃんに興奮しちゃった？」

「しよっか、パイズリ。みんなにはナイショで」

「この本の通りにすればいいのかな。膝の上でするやつが載ってたけど……」

「うん。じゃあ、ベッドにごろんしよっか♪」

「腰を上げて、その下で私が正座して、と。これで合ってるかな？」

「上、脱いじゃうね」

「ん……ふう」

「あ、あんまりじろじろ見られるとちよっと恥ずかしいかも……」

「……プロデューサーくん、たまに盗み見してるよね。私の胸」

「う、うん！ 全然！ 謝らなくていいの！ プロデューサーくんも男の子だし！ むしろ、魅力だと思ってくれてるなら嬉しいなって……」

「『私は全部が魅力』？ プロデューサーくん……」

「……えっと。せっかくだし、触ってみる？」

「ほ、ほら！ どんなものに挟まれるか確認しておいた方がきみも安心だろうし！ な、何言ってるんだろ私！ あはは……」

「う、うん。じゃあ……ど、どうぞ」

「んっ……」

「どう、かな。期待と違ってたらごめんね？」

「期待以上？ そ、そうなんだ……」

「肩こりとか大変だけど、プロデューサーくんの好みならよかったあ」

「ぶ、プロデューサーくんばかり触るのも不公平だから、私もプロデューサーくんの触るねっ」

「わ……」

「プロデューサーくんの、さつきよりおつきくなってる」

「そんなに期待してくれてるんだ……ふふっ、うれしい」

「期待に応えられるよう、が、がんばるねっ」

「じゃ、じゃあ、しよっか！」

「えっと、ローションはないから……ん……」

「唾を胸に馴染ませて……」

「ん、しよ……」

「こ、こんな感じでいいのかな？」

「ふふ、挟んだだけなのにすっごく気持ちよさそう」

「びくびくって震えて……かわいい♪」

「じゃあ、動かすね？」

「上下にゆっくり、プロデューサーくんのを包み込むように……」

「気持ちいい？ よかったあ」

「初めてだから、上手くできなかったらごめんね？」

「え？ う、うん。きみが初めてだよ」
「あ、あれ？ ちょっと硬くなった？」
「もしかして……私が初めてで、うれしい？」

「ふうん……そうなんだあ……」

「プロデューサーくんは、その……こういうの、初めてだったりする？」

「そっかあ！ ふふっ、じゃあプロデューサーくんのはじめて、もらっちゃうね」

「他の子によそ見しないよう、このチャンスでしっかり夢中にさせなきゃ……」

「う、ううん！ なんでもない！ なんでもないよ？」

「パイズリ、続けるね！」

「えいえいっ♡ ずりずり♡」

「さっきの本に描いてたけど、胸で挟んで擦るって一言で言っても、いろんな動かし方があるんだね」

「左右を違い違いに動かしてみたり」

「たぶたぶって、小刻みに揺らしてみたり」

「先っぽを重点的に責めてみるのはどうかな？」

「あ、気持ちよさそうな顔してる。こういうのに弱いんだあ」

「プロデューサーくん、見える？ 先っぽが出たり、入ったり」

「プロデューサーくんの、お姉さんの

おっぱいに包まれて気持ちいい♡って震えてるね♡」

「ふふっ、プロデューサーくんの反応可愛いなあ。なんだか楽しくなってきた♡」

「お姉ちゃんのおっぱいで、いっぱい気持ちよくなってるね♡」

「ずりずり♡ ずりずり♡」

「あ……プロデューサーくんの、先っぽからお漏らししてる」

「ふーっ……♡」

「ふふ、可愛くてついいじわるしちゃった」

「震えたりお漏らししたり、なんだか昔のプロデューサーくんみたい」

「おっぱいでいっぱいよしよししてあげるね♡」

「よしよし♡ いい子いい子♡」

「プロデューサーくんのお顔、とろとろでかわいい♡」

「お姉ちゃんにもっとよく見せて？」

「あっ……もうっ、お顔を隠しちゃ悪い子は、ずりずり止めちゃおうかな？」

「ふふっ、そんな切ない顔しないでプロデューサーくん」

「ちゃんと気持ちよくしてあげるから……ひとつだけ、お願いしてもいい、かな？」

「あのね。その……今だけは、莉波って呼んでほしいの」

「お姉ちゃんじゃなくて、一人の女の子として……」

「ダメ……？」

「……え？」

「『ホントはずっとそう見てた』……？」

「……！ プロデューサーくん……！」

「ふふっ。お姉ちゃんのこと、えっちな目で見てたんだ？」

「私もそうだから、お互い様だね」

「ねえ、もう一度呼んで？ 大好きなきみの声で」

「……うん。ふふっ、うれしいなあ」

「ちゃんと名前を呼べたご褒美に……ぎゅっ」

「プロデューサーくんの、おっぱいで抱きしめちゃった♡」

「強く挟まれるの気持ちいい♡」

「ふわふわおっぱいに包まれて、おっぱいの事しか考えられなくなっちゃおうね♡」

「あ……ふふっ、腰浮いてきてる♡」

「私のおっぱいに腰ぱんぱんってしたくなっちゃったんだよね？」

「いいよ♡ おっぱいの動きに合わせてぱんぱんして♡」

「いち、に♡ いち、に♡」

「ぱん、ぱん♡ ぱん、ぱん♡」

「プロデューサーくんのお漏らしでおっ

ぱいぬるぬるになって気持ちいい♡」

「名前、いっぱい呼んでくれて嬉しい♡」

「うん♡ 私も好きだよ♡」

「好き♡♡ 好き♡♡」

「大好きな莉波お姉ちゃんのおっぱいで、いっぱい気持ちよくなって♡」

「そろそろ出そう？ うん、いいよ♡」

「ぎゅっって挟んであげるから、プロデューサーくんのいっぱいびゅっぴゅして♡」

「いいよっ♡ いいよっ♡」

「出せっ♡ 出せっ♡」

「あっ……♡」

「ん……熱いの、いっぱい出てる……♡」

「ふふっ。お姉ちゃんのおっぱい、真っ白になっちゃった。そんなに気持ちよかったんだ？」

「お疲れ様、プロデューサーくん。しばらくそのまま休んでくれていいからね？」

「ご、ごめんね。ちょっとテンションが上がって変な事言ってたかも……」

「『そんな莉波さんも素敵です？』 ぶ、プロデューサーくん……もう」

「……またしてあげるね。きみが喜んでくれるなら、何でもしてあげたいから」

「だから……ずっと独り占めしてね」

「きみだけに見せる、姫崎莉波を」

END



流。

P.01-08

素敵な企画にお誘いいただきありがとうございました！
はみ出したお姉ちゃんは、
世界で一番えっちなんだ……！
普通に考えて学生にこの水着を着させて撮影
するのやべえっすよね。



くれりて

P.09-12

千奈……“悪い遊び”にハ
マっちゃだめだよ……
やっぱりハマって…



ピリオド

P.13-18

麻央先輩ほんとえっちで
困りますね！
牛ビキニはいつ実装され
るのでしょうか…？



まめおじたん

P.19-26

避妊しない広Pは(今のと
ころ)私には描けません…



源

P.27-32

こんにちは。冠菊リーリ
ヤの凜とした歌声大好き
委員会の源(げん)と申し
ます。この度は素敵な合
同誌の末席に加えてくださりありがとうございます。
ステージで弾ける笑顔のリーリ
ヤからえっちに恥じらうリーリヤの表情変化
にこだわって描かせていただきました！



みどり葵

P.33-40

感謝のハッピー Milf ー
ユ1万回聞きながら描き
ました



まめでんきゅう

P.41-46

美鈴担当させてもらいま
した、まめでんきゅうです。
実装前ということで色々
妄想を膨らませながらプ
ロット考えていました。
美鈴の不良で傲慢な振る舞いを早く拝みた
いですね！



ギリギリ舞

P.47-54

楽しい企画のお誘いあり
がありがとうございました！
ムチっと！思い込めてム
チッと！健康的な身体を目
指して描きました。

執筆者

ギリギリ舞／くれりて／源／流。／ピリオド
まめおじたん／まめでんきゅう／みどり葵／やもげ

Special Thanks

やもげ文庫読者の皆様

デザイン

葵ゆきや[@yky_PT]

主催・編集

やもげ

学マスのアイドルをエロい目で見ろべきか否か（To be, or not to be）について数ヶ月悩み続けましたが美鈴がエロすぎたので負けました。大和撫子然とした立ち振る舞いからなぜか立ち上るフェロモン。ナチュラルボーンサキュバス。

そんな事を言いつつ小説では莉波お姉ちゃんを書きました。莉波お姉ちゃんはエロい目で見ないと逆に失礼だと思う。莉波も「そうだそうだ」と言っています。プロデューサーくんは責任を取るべき。幸せになってほしい。

アイドルをエロい目で見ろ素敵な同志達のおかげでえちえちすぎる合同誌ができました。本当にありがとうございます。

読んでくださったあなたにも感謝を。お前も「同志」だ。

Twitter(X): @yamoges

Mail: yamogeyamoges@gmail.com

（すべて50音順・敬称略）

サークル: 角砂糖

発行: 2025年4月27日 印刷: 緑陽社